



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スタートトゥデイ

コード番号 3092 URL <http://www.starttoday.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前澤友作

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 柳澤孝旨

TEL 043-213-5171

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	25,065	9.8	5,464	0.7	5,494	2.8	3,365	6.5
24年3月期第3四半期	22,831	33.9	5,427	35.4	5,343	33.4	3,161	41.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,231百万円 (4.6%) 24年3月期第3四半期 3,088百万円 (38.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	31.00	30.94
24年3月期第3四半期	28.77	28.69

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	22,108	10,764	47.0
24年3月期	23,208	13,910	57.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 10,381百万円 24年3月期 13,400百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	10.00	—		
25年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,800	6.3	7,770	0.9	7,800	2.4	4,740	2.3	43.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年1月30日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	109,885,500 株	24年3月期	109,869,300 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,000,000 株	24年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	108,538,360 株	24年3月期3Q	109,859,924 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・平成24年4月26日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、本日(平成25年1月30日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会にて配布する資料はこの四半期決算短信と併に、速やかに当社ホームページにて掲載する予定です。
- ・平成25年1月31日(木)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	6
（3）連結業績予想に関する定性的情報	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	7
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
（4）追加情報	7
3. 四半期連結財務諸表	8
（1）四半期連結貸借対照表	8
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
（3）継続企業の前提に関する注記	11
（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)における衣料品・アクセサリー業界について、経済産業省から発表される商業動態統計調査をもとに当社グループが算出した衣料品・アクセサリー市場は前年同期比0.5%増に留まりました。

しかしながら、11月以降は気温低下に呼応する形で冬物商材が好調に推移しはじめ、上昇基調を鮮明にさせており、先行きにつきましても円安や株価上昇の動きに加え、新政権の政策に対する期待感から持ち直しの兆しがみえはじめております。

当社グループが属するファッションEC市場は、市場拡大のペースが緩やかな基調となっておりますが、ファッションブランド及びユーザーのファッションECに対する認知度の高まりや、ファッションECを展開するサイトが増加していること等を背景に、引き続きポジティブな動きを続けております。

このような状況の中、当社グループは「世界中をカッコよく、世界中に笑顔を。」という企業理念のもと、ファッションやライフスタイルの提案及び情報発信を行いながら感性豊かで温かみのある社会を実現させることを目標として、引き続き主要事業であるEC事業に注力し、「ZOZOTOWN」等のECサイトの認知度及び顧客サービスの向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間においてはカタログによる予約商品販売、テレビコマーシャル、幕張メッセ(千葉県千葉市)にて開催したリアルイベント「ZOZOCOLLE」等、様々な媒体を介し、今まで以上に幅広い顧客層へアプローチするべく販促施策を積極的に推し進めてまいりました。

また、当社は事業、収益モデルの多角化を目的としてオークションサイト「CROWN JEWEL」を運営する(株)クラウンジュエルを平成23年6月に完全子会社化しておりましたが、今般さらなる二次流通事業の強化を目的として、平成24年11月にブランド古着専門のショップ「ZOZOUSED」を新規出店いたしました。「ZOZOUSED」では(株)クラウンジュエルがユーザーから買い取った人気ブランドの中古品を販売しており、認知度、会員数等の販売力に強みを持つ当社と、中古ブランド商材の調達ノウハウに強みを持つ(株)クラウンジュエルとのシナジー効果の最大化を図っております。

さらに、従来は注文金額が1万円以上の場合に限り送料を無料としておりましたが、11月より全ての商品を対象に注文金額に関わらず送料を無料とし、ポイント還元率については1%から10%へ上げる等、ファッションEC市場の活性化を目標に挑戦的な施策を推し進めてまいりました。(注)

その結果、商品取扱高は68,055百万円(前年同期比20.2%増)、売上高は25,065百万円(前年同期比9.8%増)となり、当第3四半期連結累計期間においても依然高い成長を実現させることができました。

一方で、業容拡大に伴い物流業務の一部を外部委託したことによる物流コストの増加や、テレビコマーシャルやイベントの開催、ポイント還元率の引上げ等、積極的な販促施策を実施した結果、販売費及び一般管理費は14,690百万円(前年同期比25.8%増)となりました。

この結果、営業利益は5,464百万円(前年同期比0.7%増)、経常利益は5,494百万円(前年同期比2.8%増)、四半期純利益については3,365百万円(前年同期比6.5%増)となりました。

(注)ポイント還元率については取引先であるブランド様をはじめ、様々なご意見、ご要望を受け、価格競争が激化した場合の業界全体に与える影響を鑑み、平成25年2月1日より10%から当初の1%へ変更させていただくことを予定しております。

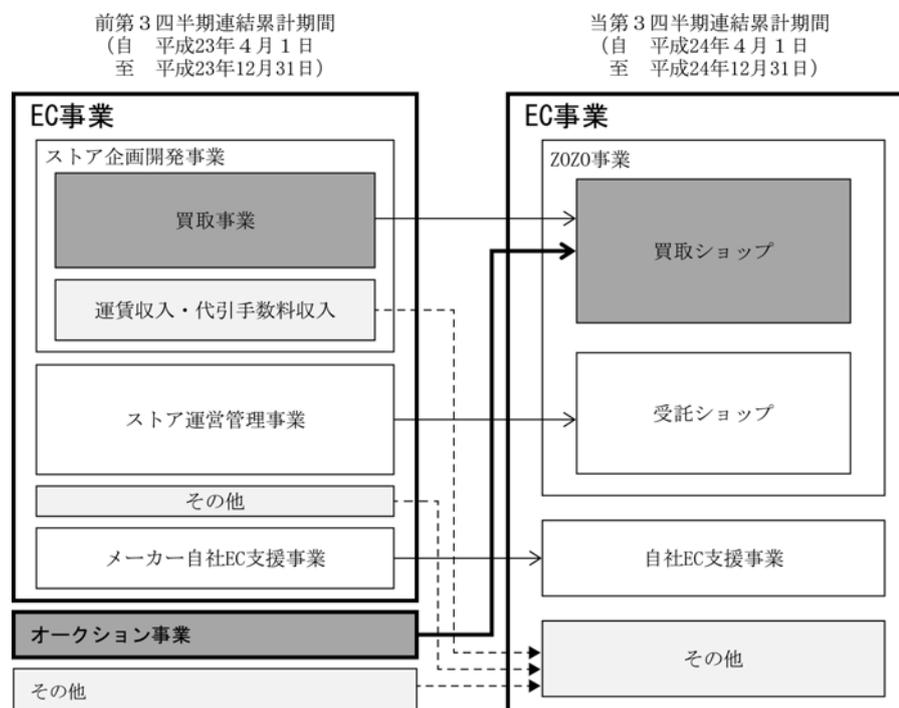
当第3四半期連結累計期間において、報告セグメント及び報告セグメント内の事業区分について、下記の通り変更しております。

- ① 当第3四半期連結累計期間よりEC事業セグメント内の各事業部門について、より実態の流通総額に沿ったものとするため、事業部門の名称及び区分を変更しております。
- ② 報告セグメントに含まれない事業セグメントとして「その他」に区分していた㈱シアターエイトが運営するアパレル商材の企画・販売事業は、平成24年1月に㈱シアターエイトがオークション事業を展開する㈱クラウンジュエルに吸収合併されたことに伴い、前第4四半期連結会計期間よりオークション事業に含めております。

また、オークション事業については、平成24年11月に㈱クラウンジュエルが運営するオークションサイト「CROWN JEWEL」での販売を中止し、当社が運営する「ZOZOTOWN」内で新たに二次流通の事業として「ZOZOUSED」の名称で新規出店したことに伴い、従来オークション事業として区分していた二次流通に係る事業を当社の管理会計上、EC事業に集約いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間より当社グループはEC事業の単一セグメントとなっております。

上記変更を図に示しますと下記のとおりとなります。



各事業別の業績は以下の通りです。

なお、前年同期との比較は前年同期の数値を変更後の区分に組替えて行っております。

事業別	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)			取扱高 前年同期比 (%)	売上高 前年同期比 (%)
	取扱高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	取扱高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)		
ZOZO事業								
(買取ショップ)	7,845	13.8%	7,845	6,059	8.9%	6,059	△22.8%	△22.8%
(受託ショップ)	43,714	77.2%	11,773	54,002	79.4%	14,866	23.5%	26.3%
小計	51,559	91.0%	19,619	60,061	88.3%	20,925	16.5%	6.7%
自社EC支援事業	5,081	9.0%	1,331	7,994	11.7%	2,097	57.3%	57.5%
その他	—	—	1,880	—	—	2,042	—	8.6%
合計	56,641	100.0%	22,831	68,055	100.0%	25,065	20.2%	9.8%

#### (ZOZO事業)

ZOZO事業においては、当社が各ブランドからファッション商材を仕入れ、自社在庫を持ちながら販売を行う買取ショップ事業と、当社が各ブランドの商品を受託在庫として預かり、受託販売を行う受託ショップ事業の2つの事業形態で構成されております。

ZOZO事業において今後も継続的に商品取扱高を拡大していくためには、取引先の拡大及び商品供給量の増大が必要となります。当第3四半期連結累計期間においては、既に多くのファンをもつ「AAPE BY A BATHING APE®」「w c」「amadana」「Vendome Aoyama」「PUMA BLACK STORE ZOZO」等、113ショップがZOZO事業において新規出店しており、より幅広い顧客層へ訴求できるショップ構成となっております。

その結果、平成24年12月末現在の総ショップ数は、「ZOZOTOWN」「ZOZOVILLA」と合わせて490ショップとなっております。

また、カタログ発行やテレビ番組協賛、リアルイベントを開催する等、積極的に推し進めてきた認知度向上のための施策により、平成24年12月末時点の「ZOZOTOWN」の会員数(注)は5,100千人(前連結会計年度末比803千人増)となっております。

以上の結果、ZOZO事業の商品取扱高は60,061百万円(前年同期比16.5%増)、売上高は20,925百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

(注)平成24年12月末現在の会員数には、会員登録を行わずに商品を購入したゲスト購入者の人数は含まれておりません。前連結会計年度末比の増減数についても同様に、ゲスト購入者数の変動の影響を除外して算定しております。

買取ショップ及び受託ショップ別の結果は下記のとおりとなっております。

i. 買取ショップ事業

平成24年12月末現在、買取ショップ事業では39ショップを運営しております。当第3四半期連結累計期間の商品取扱高(販売価格ベース)は6,059百万円(前年同期比22.8%減)、商品取扱高全体に占める割合は8.9%となりました。売上高は商品取扱高と同額の6,059百万円(前年同期比22.8%減)となりました。

前年同期比減少の要因としては、受託販売の割合を増加させ、在庫リスクをできるだけ負担しないビジネスモデルを確立させるという当社グループの方針に沿ったものとなります。

ii. 受託ショップ事業

平成24年12月末現在、受託ショップ事業では451ショップを運営しております。当第3四半期連結累計期間の商品取扱高(販売価格ベース)は54,002百万円(前年同期比23.5%増)、商品取扱高全体に占める割合は79.4%となりました。売上高(受託販売手数料)は14,866百万円(前年同期比26.3%増)となりました。

(自社EC支援事業)

平成24年12月末現在、自社EC支援事業では25のECサイトを受託・運営しており、当第3四半期連結累計期間の商品取扱高(販売価格ベース)は7,994百万円(前年同期比57.3%増)、商品取扱高全体に占める割合は11.7%となりました。売上高(受託販売手数料)は2,097百万円(前年同期比57.5%増)となりました。

(その他)

その他にはEC事業に付随した事業(運賃収入及び代引手数料収入、テナント出店の際の初期出店料等)の他、前連結会計年度に設立した子会社ZUZU TOWN HONGKONG CO., LIMITED、走走城(上海)電子商務有限公司が運営する中国事業があります。

また、当第2四半期連結累計期間まで(株)クラウンジュエルが運営していたオークションサイト「CROWN JEWEL」での販売実績についても、その他に含めて表示しております。

当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は2,042百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

### （資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,761百万円減少（前連結会計年度末比8.4%減）し、19,116百万円となりました。主な増減要因としては、売掛金の増加2,913百万円、配当金の支払いや法人税等の納付、自己株式の取得により現金及び預金が前連結会計年度末に比べ5,190百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ660百万円増加（前連結会計年度末比28.4%増）し、2,991百万円となりました。主な増減要因としては、設備投資に伴う建設仮勘定の増加497百万円、敷金の増加214百万円等によるものであります。

以上の結果、総資産は前連結会計年度末に比べて4.7%減少し、22,108百万円となりました。

### （負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,992百万円増加（前連結会計年度末比22.9%増）し、10,699百万円となりました。主な増減要因としては、受託販売預り金の増加2,896百万円、ポイント引当金の増加492百万円、未払法人税等の減少1,455百万円等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ53百万円増加（前連結会計年度末比9.0%増）し、643百万円となりました。主な増減要因としては、退職給付引当金の増加55百万円等によるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて22.0%増加し11,343百万円となりました。

### （純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,145百万円減少（前連結会計年度末比22.6%減）し、10,764百万円となりました。主な増減要因としては、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加3,365百万円、剰余金の配当による減少2,716百万円、自己株式の取得による減少3,660百万円等によるものであります。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月26日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年1月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(返品調整引当金)

商品の返品に係る損失に備えるため、過去における返品実績を基準として将来見込まれる返品に係る損失額を計上しております。

当社では、前連結会計年度の期首より返品受付を開始しており、従来、連結決算日後の一定期間内に受けた返品については、当該連結決算日に係る連結会計年度の売上高の控除として処理しておりました。

しかし、返品受付開始以降一定期間が経過し、将来見込まれる返品に係る損失額を合理的に見積もるための実績データが蓄積されたこと及び返品に係る損失の重要性が増加してきていることから、将来の返品による損失に備えるため、当第1四半期連結会計期間より、将来見込まれる返品に係る損失額を返品調整引当金として計上しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,888,792	8,697,904
売掛金	5,031,929	7,944,952
商品	1,239,806	1,576,237
その他	716,994	897,129
流動資産合計	20,877,523	19,116,224
固定資産		
有形固定資産	810,267	1,358,906
無形固定資産		
のれん	641,123	527,983
その他	261,074	250,105
無形固定資産合計	902,197	778,089
投資その他の資産	618,429	854,879
固定資産合計	2,330,894	2,991,875
資産合計	23,208,418	22,108,099
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	590,594	436,878
受託販売預り金	4,214,570	7,111,447
未払法人税等	2,200,470	745,132
賞与引当金	138,932	86,527
ポイント引当金	502,583	994,683
返品調整引当金	—	25,991
その他	1,060,597	1,299,322
流動負債合計	8,707,749	10,699,984
固定負債		
退職給付引当金	357,546	412,917
資産除去債務	115,093	116,490
その他	117,649	114,101
固定負債合計	590,288	643,508
負債合計	9,298,038	11,343,493
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,359,309	1,359,665
資本剰余金	1,327,498	1,327,850
利益剰余金	10,715,047	11,363,208
自己株式	—	△3,660,588
株主資本合計	13,401,854	10,390,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,478	△3,482
為替換算調整勘定	2,792	△5,259
その他の包括利益累計額合計	△1,686	△8,742
新株予約権	3,107	2,561
少数株主持分	507,103	380,652
純資産合計	13,910,379	10,764,606
負債純資産合計	23,208,418	22,108,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	22,831,084	25,065,564
売上原価	5,723,850	4,884,327
売上総利益	17,107,233	20,181,237
返品調整引当金繰入額	—	25,991
差引売上総利益	17,107,233	20,155,245
販売費及び一般管理費	11,679,475	14,690,505
営業利益	5,427,758	5,464,739
営業外収益		
受取利息	6,744	5,996
受取配当金	310	—
為替差益	—	16,622
その他	2,473	7,346
営業外収益合計	9,528	29,965
営業外費用		
為替差損	16,312	—
持分法による投資損失	6,653	—
創立費	70,957	—
営業外費用合計	93,924	—
経常利益	5,343,362	5,494,705
特別利益		
投資有価証券売却益	5,443	—
段階取得に係る差益	207,631	—
特別利益合計	213,074	—
特別損失		
固定資産除売却損	10,364	9,797
特別損失合計	10,364	9,797
税金等調整前四半期純利益	5,546,073	5,484,908
法人税、住民税及び事業税	2,607,804	2,443,646
法人税等調整額	△173,092	△204,504
法人税等合計	2,434,711	2,239,142
少数株主損益調整前四半期純利益	3,111,361	3,245,765
少数株主損失(△)	△49,701	△119,235
四半期純利益	3,161,062	3,365,001

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,111,361	3,245,765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△516	996
為替換算調整勘定	△22,330	△15,268
その他の包括利益合計	△22,846	△14,271
四半期包括利益	3,088,514	3,231,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,148,770	3,357,945
少数株主に係る四半期包括利益	△60,255	△126,451

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成24年6月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。これにより、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が3,660,588千円増加し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は3,660,588千円となっております。